

首都直下地震モデル検討会について

1. モデル検討会設置の趣旨

南海トラフの巨大地震モデルの知見、文部科学省首都直下地震防災・減災特別プロジェクトや東京都防災会議による首都直下地震に係る先行的調査・検討を踏まえ、平成 17 年の中央防災会議で想定した首都直下地震モデルと、現時点の最新の科学的知見に基づきあらゆる可能性を考慮した相模トラフ沿いで発生する最大クラスの巨大地震モデルによる震度分布・津波高等を検討することを目的として、検討会を設置する。

2. 主な検討課題（案）

- 首都直下地震及び相模トラフ沿いで発生する地震に係るこれまでの研究成果の整理
- 新しい知見を活用した想定首都直下地震の点検・修正
- 科学的知見に基づき、あらゆる可能性を考慮した相模トラフ沿いで発生する最大クラスの巨大地震モデルの設定
- 首都直下地震、相模トラフ沿いで発生する巨大地震による震度分布・津波高等の推計

3. 検討スケジュール

夏頃	首都直下地震、相模トラフ沿いの巨大地震モデルの設定
秋頃	首都直下地震、相模トラフ沿いの巨大地震による震度分布・津波高等の推計